

令和4年度 授業計画書(シラバス)

授業科目名							
総合柔道整復学12							
学科・昼夜	学年	学期	担当教員名		実務経験		
柔道整復学科・夜間部	3年	3期	鴨田 佳典		○		
分野区分	教育課程		講義形式	単位	コマ数		
専門分野	臨床柔道整復学		座学	1	10		
科目概要							
柔道整復師として下肢の軟部組織損傷を正しく総合的に評価できるように、解剖学的・生理学的身体要素から鑑別疾患 なども含めて進めていく。							
目標							
一般目標 (GIO) 本講義を学習することで達成されるべき目標	柔道整復師が取り扱う損傷や障害を多様な視点から捉えられる為に、下肢に関わる総合的身体要素を把握し、臨床の場で遭遇することが多い下肢軟部組織損傷に対応できる力を身に着ける。						
	到達目標 (SBO) 一般目標を達成するために必要な具体的な内容、客観的な指標(合格基準)	1. 下肢に関わる総合的な身体的要素等を選択できるようにする。 2. 評価に必要な他教科との関連性を選択できるようにする。 3. 発生源、症状、合併症等を選択できるようにする。 4. 鑑別疾患について選択できるようにする。					
履修に必要な予備知識や技能							
下肢の解剖学的要素、運動学(運動器)など							
教科書・参考書							
柔道整復学・理論編							
受講上の注意							
不明な点は、授業内でも授業外でも構わないので適宜担当教員に確認してください。授業で必要なものは、必ず授業前に準備をしておいてください。							
成績評価方法							
評価方法	定期試験	小テスト (チェックテスト)	レポート	実技試験	プレゼンテーション	その他	(合計)
評価割合(%)	100						100
回数	授業内容			教科書	教材・持ち物		
第1回	下肢軟部組織損傷、身体的要素① 4択問題の選択			p.370～377	教科書 筆記用具		
第2回	下肢軟部組織損傷、身体的要素② 4択問題の選択			p.370～377	教科書 筆記用具		
第3回	下肢軟部組織損傷、身体的要素③ 4択問題の選択			p.380～383	教科書 筆記用具		
第4回	下肢軟部組織損傷、身体的要素④ 4択問題の選択			p.401～410	教科書 筆記用具		
第5回	下肢軟部組織損傷、身体的要素⑤ 4択問題の選択			p.401～410	教科書 筆記用具		
第6回	下肢軟部組織損傷、身体的要素⑥ 4択問題の選択			p.421～424	教科書 筆記用具		
第7回	下肢軟部組織損傷、身体的要素⑦ 4択問題の選択			p.436～441	教科書 筆記用具		
第8回	下肢軟部組織損傷、身体的要素⑧ 4択問題の選択			p.453～457	教科書 筆記用具		
第9回	総復習			p.370～457	教科書 筆記用具		
第10回	試験						
実務経験と本講義との関連について							
柔道整復師として接骨院に勤務。医療機関での実務経験をもとに話をします。							
メールアドレス							
kamoda@nihonisen.ac.jp							